

スウェーデンでの一年間

私はロータリー青少年交換プログラムの交換学生として2024年8月から2025年7月まで、スウェーデンのストックホルムで過ごしました。スウェーデンに到着したとき、日本とは景色や建物の雰囲気がまったく違って、とても感動したのを覚えています。学校も日本とはさまざまな点で違って、新鮮でした。私はホストロータリークラブのカウンセラーの母校である、英語で授業が行われる学校に通っていました。ここではスウェーデンで生まれ育ったものの、両親が海外出身の生徒や、他の国から移住してきた生徒が多く、とても国際的な環境の中で学ぶことができました。



ホストファミリーは全部で4家庭で、最初の2家庭はスウェーデン人、後半の2家庭はスウェーデン人ではないご家族でした。スウェーデンにいながらいろいろな国の文化に触れることができ、とても良い経験になりました。スウェーデンには、現地出身の方だけでなく、他の国から移ってきた人など本当にいろいろな国の人たちが暮らしていて、さまざまな考え方を知ることができました。その中で、自分自身の考え方や視野も大きく広がったと感じています。



また、ストックホルムはスウェーデン最大の都市ということもあり、日本人であること、ロータリーの派遣生であることがきっかけで出会えた人も多く、そういった方々と出会えたことは、日本ではなかなか得られない貴重な経験だったと思います。これからもこの出会いや経験を大切にし、日本と海外の文化や価値観をつなぐ存在になれるよう努力していきたいです。スウェーデンでの1年を通して得たことを、これからの人生にも活かせるように頑張ります。

